

自助・・・自らの命は自ら守る！

政府の[地震調査研究推進本部](#)は、主要活断層で地震が起きる確率を表す「長期評価」について、発生確率が高い順にS（高い）、A（やや高い）、Z、Xの4ランクに分け、見直すこととしました。今回の変更は、4月の熊本地震が起きた布田川（ふたがわ）断層帯で、今後30年以内の地震発生確率を「ほぼ0～0.9%」と公表していたことが、逆に安全情報と受け取られたことによります。[阿寺断層帯](#)主部（北部）の今後30年以内の地震発生確率は「6～11%」です。



地震調査研究推進本部 HP から

平成23年3月11日発生 of 東日本大震災後、地殻変動のデータを用いて、全国の主要活断層帯への影響を評価した結果、阿寺断層を含む全国の5断層について、地震発生確率が高くなっている可能性があるとしてしました。



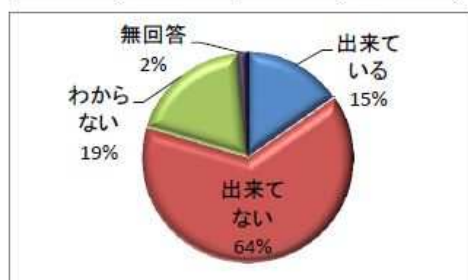
ただし、これらの数値をもって、「危険が迫っている」とは必ずしも判断はできないかも知れませんが、私たちが暮らしている下呂市は、全国でも屈指の活断層帯の上にあることは間違いありません。

平成28年3月実施の[市民アンケート](#)でも、災害に対する備えが出来ていると思いますか？との問いに対し、出来ているは15.3%で、出来てないは64.3%に上ります。

一方で、地震に対し減災対策として有効な家具の固定について、一部を含めしているは合計で46%、していないが47.8%となっています。

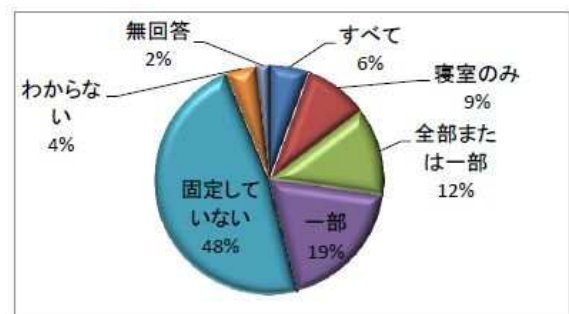
問32. あなたのご家庭では災害に対する備えが出来ていると思いますか？

出来ている	出来てない	わからない	無回答
156	654	192	15
15.3%	64.3%	18.9%	1.5%



問30. 家具を転倒防止のため、固定していますか？

すべて	寝室のみ	全部または一部	一部	固定していない	わからない	無回答
57	92	128	191	486	44	19
5.6%	9.0%	12.6%	18.8%	47.8%	4.3%	1.9%



10月28日は、明治24年（125年前）に有史以来、わが国最大の内陸型地震である、濃尾地震が発生した月です。まずは家具の固定から、防災、減災対策を始めましょう！

次回は、図記号、防災看板についてお知らせいたします。

下呂市総務部防災情報課